

令和7年度 印西市民アカデミーだより 第4号

講座 4 : 川めぐり(遊覧船)

6月21日(土)、「川めぐり」を実施しました。

コースは、印西市立中央公民館裏(第1発着所)～弁天川(弁天橋)～巖島神社～手賀川合流域～関杵橋～発作橋～亀成川合流域～折り返し～手賀川合流域～六軒川～川の停車場(第2発着所)～北千葉浄水場～六軒橋～印西市立中央公民館裏(第1発着所)の約1時間の行程です。



2班に分かれて乗船

船を走らせ、水面に近い目線で見える景色は新鮮で、水辺に住む水鳥や川面を跳ねる魚等を観察しながら進んでいきました。手賀川に入ると川幅が大きく広がり発作地区の広大な水田地帯(川からの茂み)の向こうには千葉ニュータウン地区の高層ビル群が見え、発作橋付近には数十羽のコブハクチョウが生息(棲み処?)しており優雅に泳ぐ姿を観察できました。

このコースの隠れた魅力は、11本もの橋「六幸橋、弁天橋、六軒水神橋、弁天川橋梁(JR成田線)、弁天水管橋、(無名橋)、弁天大橋、関杵橋、六軒大橋、六軒水管橋、手賀川橋梁(JR成田線)、六軒橋」を真下から見るという体験を味わえることです。タイミングが合えばJR成田線の電車を下から見ることができます(船が通る、ちょっと前に上り電車が通過していきました。残念)。

川をめぐる六軒地区の鎮守は、水神社と巖島神社の二社合祀で、通常は弁天様と呼ばれて親しまれています。巖島神社は、六軒の開拓に携わった宮島勘右衛門が安芸(広島県)の宮島より勧請したものとされています。境内には、六軒出身の第24代横綱「鳳谷五郎」の立派な碑が建っています。

もう少し進むと関杵橋付近には、日本を代表する歌人である若山牧水の歌碑があります。発作にお弟子さんがいてこの付近に遊びに来ており、歌を詠んでいたことから、それを記念し建てられた碑が



あります(機会があればぜひ訪れてみてはいかがでしょうか)。

当日は、晴れで蒸し暑い日(ライフジャケットを着るとさらに暑かった)でしたが、川面を滑るさやかな

風を心地よく感じながら、また、のどかな風景に往時の様子を思い浮かべながらの楽しい水上散歩となりました。



弁天川橋梁(JR成田線)





若山牧水歌碑（印西市発作）

はるけくてえわかざりけり沼の上や
近づき来る鷺にしありけり 牧水